

科目名	コンテンツ加工 1						年度	2026	
英語科目名	Content processing 1						学期	後期	
学科・学年	情報ビジネス科 1年次	必/選	選	時間数	45	単位数	3	種別※	演習
担当教員	飯田恵美子	教員の実務経験		有	実務経験の職種		パソコンインストラクタ		

【科目の目的】

ネット関連企業、またはネット関連事業でノンプログラミング系の仕事を希望する場合、web関連知識、特に画像処理技術の知識は不可欠と言ってもいいでしょう。この授業では、グラフィックソフトウェアとして定評のある、Adobe社のIllustratorとPhotoshopの使い方をマスターします。

【科目の概要】

グラフィックソフトとして歴史あるIllustratorおよびPhotoshopの操作を習得することで、グラフィックデザインの基礎を身に着けます。ゴールとしては「使ったことがある」でなく、「使いこなせる」レベルを目指します。Webサイトの構成要素の知識も身に着け、総合的にサイトのデザインができるようなスキルを習得します。

【到達目標】

グラフィックソフトとして歴史あるIllustratorおよびPhotoshopの操作を習得することで、グラフィックデザインの基礎を身に着けます。ゴールとしては「使ったことがある」でなく、「使いこなせる」レベルを目指します。Webサイトの構成要素の知識も身に着け、総合的にサイトのデザインができるようなスキルを習得します。

【授業の注意点】

毎回、パソコンを使用します。
毎回の提出物および小テストによって成績が評価されます。理由のない遅刻や欠席は認めません。授業の進捗状況により、内容が前後する場合があります。欠席した場合は各自その回の操作を自習してください。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	Photoshopを使い、自分で最適な画像になるよう編集することができる	Photoshopを使い、ある程度は自分で画像を編集することができる	Photoshopを使い、指示された操作を行うことができる	Photoshopを使うことはできるが、多くの操作に指示が必要である	Photoshopでの画像編集について、すべて指示がなければ操作することができない
到達目標 B	Illustratorを使い、自由に思った画像を描くことができる	Illustratorを使い、自分で考えてある程度は画像を描くことができる	Illustratorを使い、指示をうけながら画像を描くことができる	Illustratorを使い、画像を描くことができるが、多くの操作に指示が必要である	Illustratorを使い、画像を描くことができない
到達目標 C					
到達目標 D					
到達目標 E					

【教科書】

世界一わかりやすい Illustrator & Photoshop 操作とデザインの教科書

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

課題、小テスト等を総合的に評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		コンテンツ加工 1			年度	2026
英語表記		Content processing 1			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	アプリの準備	ガイダンスとアプリ準備	1 ガイダンス	授業の到達目標を理解する	1	
			2 インストール	IllustratorとPhotoshopのインストール		
			3 起動確認	IllustratorとPhotoshopの用途の違いを理解している		
2	図形を描く、色をつける	様々な図形を描く (Illustrator)	1 図形作成	Illustratorを使い簡単な図形を作成できている	3	
			2 縁と塗りつぶし操作	図形の縁と塗りつぶしの違いを理解し設定できている		
			3 グラフとトレース	グラフやトレースなど、特殊なオブジェクトの作成方法を理解している		
3	オブジェクトの選択と変更	アンカーポイント選択と変形 (Illustrator)	1 変形	Illustratorを使い、さまざまな図形を変更できている	3	
			2 選択	オブジェクトおよびアンカーポイントを選択して変更に必要な操作につなげることができる		
4	色と透明度	色の設定および塗りつぶしのパターンを変更 (Illustrator)	1 パネル操作	スウォッチパネルやカラーパネルを操作して指定した色を設定できている	3	
			2 グラデーション	グラデーション設定が操作できている		
			3 パターン	パターン設定が操作できている		
5	オブジェクトの編集と合成	レイヤー管理 (Illustrator)	1 レイヤー概要	レイヤーの考え方を理解できている	3	
			2 整列と複製	オブジェクトの複製および整列が操作できている		
			3 オブジェクト統合	複数のオブジェクトを組み合わせて新しい図形を作成できている		
6	線と文字の設定	線種や線端の設定 (Illustrator)	1 線の詳細設定	線種や線端処理が操作できている	3	
			2 文字の入力	文字を入力し、フォント指定や文字間隔を細かく変更できている		
			3 レイアウト	文字列をオブジェクト内に適切に配置できている		
7	便利な機能	画像切り抜きや文字列の特殊な変形 (Illustrator)	1 画像の切り抜き	クリッピングマスクを使い、画像から必要な部分を切り抜くことができる	3	
			2 リピート	図形を繰り返しコピーして、パターンを作成できている		
			3 エンベロープ	文字列に特殊な効果をあたえ、自由に変更させることができる		
8	レイヤー操作と色調補正	レイヤー管理と画像の加工 (Photoshop)	1 レイヤーの基本	レイヤーを理解し、追加、ロック、リンクを操作できている	3	
			2 色調変更	さまざまな色調補正の手順を理解し設定することができる		
			3 塗りつぶしレイヤー	複数の画像を組み合わせて画像を作ることができる		
9	選択範囲の作成	加工が必要な部分を選択して加工する (Photoshop)	1 選択の基本	選択操作の基本および部分追加が削除が操作できている	3	
			2 便利な選択方法	修正したい箇所のみをうまく範囲指定できている		
			3 選択範囲メニュー	色域指定や空選択など、加工に必要な部分を適切に変更する操作ができています		
10	色の設定とペイント操作	描画色と背景色を設定 (Photoshop)	1 色の設定	描画や背景色の設定方法を理解している	3	
			2 グラデーション	塗りつぶしパターンにグラデーションを使用できている		
			3 ペイント	ペイントツールを使って図形を描画できている		
11	レイヤーマスク	画像を部分的に非表示にする (Photoshop)	1 レイヤーマスクの基本	レイヤーマスクの仕組みを理解し追加編集できている	3	
			2 レイヤーマスク実践	レイヤーマスクを追加し画像の切り抜きや色あい調整できている		
12	文字、パス、シェイプ	画像に文字や図形を追加 (Photoshop)	1 文字入力	文字を入力し、フォントやサイズ変更などができている	3	
			2 文字の変形	ワーブスタイルを使い文字を変形できている		
			3 パスとシェイプ	描画ツールを使い図形を描くことができる		
13	画像の修正	画像のレタッチ (Photoshop)	1 スポット修復	画像の汚れや傷を修復補正できている	3	
			2 画像の変形	変更の基準点を理解したうえで、画像の一部または全体を変形できている		
			3 トリミングと解像度	必要な箇所のみトリミング、解像度を変更できている		
14	フィルターとレイヤースタイル	フィルターの追加 (Photoshop)	1 フィルターを使う	フィルターを作成し、ギャラリーから適切な効果を設定できている	3	
			2 レイヤースタイル	レイヤースタイルを使用し、画像に適用できている		
15	IllustratorとPhotoshopの連携	両方のアプリを使うシチュエーション (Illustrator、Photoshop)	1 編集作業の連携	Illustratorに配置した画像をPhotoshopで編集できている	3	
			2 Photoshop形式での書き出し	Illustratorで作成した画像をPhotoshopで使えるようにファイル形式を指定して保存できている		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等